

つぼみだより

平成22年 4月号
NO/1
中高生の部

ご入学・ご進級おめでとうございます。新たな一年の始まりですね。その喜びを祝うように満開の桜も例年より長く楽しむ事ができた今年 なんだか得した気分で新年度を迎えています。つぼみでもフレッシューズを4人迎えての新体制でスタート 新しい風を吹き込みながら今年度も走り始めたいと思います。もちろん大切にしてきたことを守りながら そして新しい事への挑戦も忘れずに。子ども達の笑顔を咲き誇らしたいと思います。



春休みのすがた



恒例の金華山登山を皮切りに今年も春休み特別日課が始まりました。雨を心配していましたが天気にも恵まれ予定していた日に実施する事ができました「日頃の行いがいいんだね」と職員も朝からテンションを上げられるところまで上げて いざ出陣！！ 昨年からの常連さんに加えて初参加の子供たちを率いる総勢22名と引率職員とで出かけています。かめさんコースとウサギさんコースに別れての登山となりました。バス1個分かめさんコースが有利に登りはじめ、とても順調な滑りだし・・・でしたが頂上付近でなんとウサギさんコースに追い越されてしまう場面が・・・お話とは違う

ところもありましたがウサギもかめもみんなに登りきることができました。岐阜城を見上げながら長良川を見下し 眼下いっぱい広がる岐阜市を見ながら美味しくお弁当を食べてきました。本当に良く頑張って登りきってくれたと嬉しく思いました。この頑張りを忘れずにいてほしいと願っています。

さて続いて夢んぼとの交流会は残念ながら中止・・・(夢んぼさんの体調不良のため) ちょっと計画とは違っていましたが大・中高生との交流会に変更して昼食作りをしています。カレーライス行事食の定番！ 慣れた手つきで玉葱の皮を剥き野菜を切るカレー班。目を真っ赤にして玉葱とにらめっこする子どもの真っ直ぐな瞳に成長したとい



う力を感じることができました。サラダ班は包丁をしっかりと握り締め頼もしい包丁さばきを見せてくれましたよ。みんなで作ったカレーライス&サラダ いつもはなかなか食べられない野菜もしっかりと口に運ぶことができたのではないのでしょうか？



今年の初企画 お弁当作り&お花見は残念ながら雨に降られてしまい中止。三色弁当を作りつぼみの中で食べました。このお弁当作りもそぼろ班・玉子班・ほうれん草班に分かれて取り組みました。取り組みの工程の理解もでき各自の分担を意識して協力して作ることができました。出来上がった食材を並べ個々のお弁当箱に詰め込む時が一番楽しそうでした。 ご飯を詰める そぼろのをせる 玉子のを





せる ほうれん草をのせる そして出来上がり 単純な作業の中にも楽しさと難しさがあり意欲をもって集中力もup! させる事ができました。何かを作り上げる感動は共通ですね。お弁当なのにみんなお代わりをしていました。(笑)

最後になりましたが制作活動では子どもの日に向けて小学生はこいのぼり 中学生はものさしを使っての材料作り

から始まり組み立てを経験しながら鉛筆立てを作っています。一日をかけて行なった制作 途中で集中力が切れてしまうかも?・・・と心配していた職員を笑うかのようにしっかりと指示を聞き取り組むことができました。完成したこいのぼりや鉛筆立ての中には子供たちのたくさんの知恵と努力・創造力がいっぱい詰まった物になったのではないのでしょうか。春休みの思い出の一品になればとても嬉しいです。



ジョブコーチって?

4月からつぼみ就労実習が始まりました。朝10時に元気な声と共に通って来る10人の子供達。本当に元気な声で「おはようございます 今日一日よろしくお願いします」とつぼみが揺れるぐらいの大きな声が響きわたります(笑)さぁ ここからがジョブの役割が始まります。ジョブコーチの役割とは障がいのある人に仕事を解りやすく教えていく人のことです。解りやすく教える為に必要になってくるのが 課題分析: どこでつまづいているのかを解りやすくする為に作業を小さく分けて見分けていきます。 指示の出し方: 言葉での直接的な指示の出し方から、ジェスチャー・見本を見せながら模倣させたり、1工程ずつ確認しながら共に作業を進めたり、時には手・身体の動かし方や力の入れ方について手を添えて感覚として教えていく等等本当に奥が深いのです。指示の出し方も丁寧な指示の出し方が良い事ばかりではなく、丁寧な言葉かけが時には不安や混乱を高まらせることもあります。また、色んな方法を次々に教える事も混乱に拍車をかけてしまうんです。必要なのは作業手順を簡単にして、最小限の言葉がけと身振り手振りで教え、正しくできた時には大げさなぐらい誉め、間違った時には正しい方法を教える。同じ手順で何度も繰り返し教える事がとっても大切で必要な事なのです。そして段々と上達していく姿をみるのはジョブの楽しみでもあり次の課題でもあるのです。「できる・やれる」と自信が付いてくると我流が出てきたり、極端に「できない」と自信を失くす子も出てきます。そこで大切なのは 見守り: 「大丈夫できるよ」と励ましたり「できないことは仕方がない、でも諦めて逃げてはいけない」と叱咤激励することも・・・ 色んな事があるんです。「ジョブコーチ」言葉にすると簡単!! でも実際に取り組むと大変で難しい事ばかりなんです。このジョブコーチを一生懸命頑張っているのが中島をはじめ5人の職員 大きな壁に当たると度にチームワークを増し乗り越えられる力を付けています。「頑張れ光陽の期待の新人!」実習が始まってもうすぐ1ヶ月 この1ヶ月で確かに彼女たちは成長しています。

Kのひとこと

最近、「Kを見ない」という声が多い。そうKは現在冬眠中。4月は新しい事業を生み出す時期。あっち、こっちに走り、情報収集と考える日々。Kはシステムを考えるだけ。だからこの時期は現場を動かす、局長と統括が大変。だからつまり、Kは局長・統括から逃げる。

今回はSPM事業の開始。光陽福祉会サポートセンターつぼみが目指しているのは、「自立支援」ただそれだけ、だからこそ、ひとつでも子ども達の為になると感じたことは、前に進めたい。一般就職に向けては絶対にSPM事業が効果的になることは間違いない。

今回の紹介は松原先生。あだ名はワカメちゃん。髪型からついたあだ名だ。一言で言うと一生懸命な人。とにかく一生懸命。一生懸命過ぎて時々、顔が怖い。そう、怒った時は波平さんになる。子供は大好き。かつお君を叱る時の波平さんみたい。